



STEICO

Sustainability report 2022

サステナビリティレポート 2022



環境に優しい木質繊維断熱材と革新的な
木質建築製品

目次

STEICOの持続可能性 3
 持続可能性はSTEICOの企業DNAの一部です 4
 2026年までの企業目標 7

STEICO Sustainability report according to GRI standards from page 8 on

Information on the EU taxonomy	8	GRI 200: Economy	29
EU taxonomy and its use.....	8	GRI 201: Economic performance 2016.....	29
GRI 2: General disclosures 2021	10	GRI 202: Market presence 2016.....	29
GRI 3: Material topics 2021	19	GRI 203: Indirect economic impacts 2016.....	30
Management approaches	20	GRI 204: Procurement practices 2016.....	30
GRI 201: Economic performance 2016, GRI 202: Market presence 2016.....	20	GRI 205: Anti-corruption 2016.....	30
Philosophy	20	GRI 206: Anti-competitive behavior 2016.....	31
GRI 203: Indirect economic impact 2016, GRI 413: Local communities 2016.....	20	GRI 207: Taxes 2019.....	31
GRI 205: Anti-corruption 2016.....	21	GRI 300: Ecology	32
GRI 207: Taxes 2019.....	21	GRI 301: Materials 2016.....	32
Production processes and their impact	22	GRI 303: Water and sewage 2018.....	33
GRI 204: Procurement practices 2016, GRI 301: Materials 2016, GRI 304: Biodiversity 2016, GRI 308: Supplier environmental assessment 2016, GRI 412: Human rights assessment 2016.....	22	GRI 304: Water and effluents 2018.....	34
GRI 302: Energy 2016, GRI 305: Emissions 2016.....	23	GRI 305: Emissions 2016.....	36
GRI 303: Water and effluents 2018, GRI 306: Effluents and waste 2016.....	24	GRI 306: Effluents and waste 2016.....	37
Working for STEICO	25	GRI 307: Environmental compliance 2016.....	38
GRI 401: Employment 2016, GRI 405: Diversity and equal opportunities 2016, GRI 406: Non-discrimination 2016.....	25	GRI 308: Supplier environmental assessment 2016.....	38
GRI 403: Occupational health and safety 2018.....	25	GRI 400: Social affairs	39
GRI 404: Training and education 2016.....	26	GRI 401: Employment 2016.....	39
Compliance at STEICO	27	GRI 402: Labor/management relations 2016.....	39
GRI 307: Environmental compliance 2016, GRI 419: Socioeconomic compliance 2016.....	27	GRI 403: Occupational health and safety at work 2018.....	39
GRI 402: Labor/management relations 2016, GRI 407: Freedom of association and collective bargaining 2016, GRI 408: Child labor 2016, GRI 409: Forced or compulsory labor 2016, GRI 411: Rights of indigenous peoples 2016.....	27	GRI 404: Training and education 2016.....	41
GRI 416: Customer health and safety 2016, GRI 418: Customer privacy 2016.....	27	GRI 406: Non-discrimination 2016.....	42
		GRI 407: Freedom of association and collective bargaining 2016.....	43
		GRI 408: Child labor 2016.....	43
		GRI 409: Forced or compulsory labor 2016.....	43
		GRI 410: Safety practices 2016.....	43
		GRI 411: Rights of indigenous peoples 2016.....	43
		GRI 412: Human rights assessment 2016.....	43
		GRI 413: Local communities 2016.....	44
		GRI 414: Supplier social assessment 2016.....	44
		GRI 415: Public policy 2016.....	44
		GRI 416: Customer health and safety 2016.....	44
		GRI 417: Marketing and labelling 2016.....	44
		GRI 418: Customer privacy 2016.....	45
		GRI 419: Socioeconomic compliance 2016.....	45

詳細項目はメーカーサイトにてご確認ください。(英語)

<https://www.steico.com/de/>

STEICOの持続可能性

GRI 302-1

2022年にはバイオマスと木質ペレットが消費エネルギーの66%を占めました

石炭の使用量は2021年比べて54%削減されました

GRI 302-1

GRI 305-1

CO2削減：2022年に温室効果ガスが24%削減されました。(88,541 t)

2022年にCO2排出量は19%削減された(完成品1トンあたりのCO2排出量)

GRI 305-4

2022年のCO2貯留と排出 (百万トン)



2022年に製造したSTEICO製品は、製造時に排出するCO2のほぼ3倍を貯蔵しています。

GRI 305-1

投資の97.9%はタクソミー適格とEUの環境目標を支援する可能性があります。

STEICOは、航空旅行によって発生する229トンのCO2排出量をすべて補償しました。

GRI 305

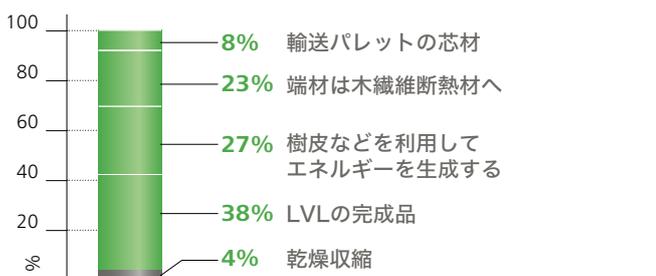
GRI 413-1

社会貢献活動: 2022年に約€105,000の寄付

廃棄物管理: 2022年には廃棄物の78%がリサイクルされました。これにより、廃棄物管理によって資源を節約できます。

GRI 306-2

LVL生産において、原木を100%使用し、廃棄物は0%



積層単板材 (LVL) の製造に使用される原木は、最後の繊維まで全て使用されます。

GRI 301

* 2021 to 2022

持続可能性はSTEICOの 企業DNAの一部です

木質繊維断熱材製品の世界的マーケットリーダーとして、STEICO は責任を負い、生産プロセスの最適化に継続的に投資しています。



地球温暖化が続いていることを考えると、持続可能な解決策はこれまで以上に重要です。

プロセスの最適化によりエネルギーとCO2の効率が向上

2022年、STEICOは石炭の使用量を54%削減し、バイオマスと木質ペレットが消費エネルギーの66%を占めるようになりました。CO2強度を19%削減することができました。

木材資源の高効率利用

特に木質繊維断熱材の製造により、木材を「最後の繊維まで」リサイクルすることが可能になります。余った木材や加工不可能な木材をエネルギー生産に使用すると、それらに含まれる CO2 がすぐに放出されますが、断熱材には長期間貯蔵されたままになります。これにより、暖房の必要性和 CO2 排出量が削減され、効率的で気候が保護されます。さらに、材料サイクルを大幅に最適化することで、材料の使用期間が延長され、結果として CO2 貯蔵も延長されます。

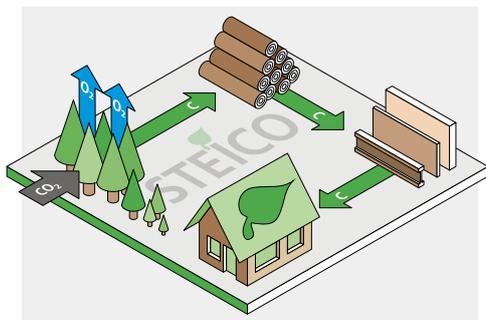
STEICO は、木質繊維断熱材に加えて、積層ベニア材 (LVL) と I型ジョイストも製造しており、高い材料効率を実現しています。STEICO では、1.0 m3 の LVL を製造するために 2.6 m3 の丸太が必要です。ベニアを剥がすと、0.2 m3 の残材が残り、輸送パレットの製造用に板材や角材に製材されます。0.7 m3 の未使用ベニア材と木材廃棄物は細断され、木質繊維断熱材と I型ジョイスト用の天然繊維板の製造に使用されます。0.7 m3 の樹皮と未使用木材は、バイオマスからエネルギーを生成するために使用されます。

LVL、I型ジョイスト、木質繊維断熱材は、木造建築の革新的なシステムを形成し、従来の木造建築よりも材料の効率的な利用、エネルギー消費の効率化、性能の向上、費用対効果の向上に寄与します。これらにより、木造建築はさらに魅力的で競争力が増します。気候保護の重要な要素は、人間の幸福と人間のパフォーマンスでもある。

STEICO木質繊維断熱材 CO2貯蔵

STEICO の製品は、建物を長期的な CO2 吸収源に変えます。木造建築プロセスでは、木質繊維断熱材によって貯蔵される CO2 の量が大幅に増加します。

再生可能な原材料から作られた建設資材は、長期的にCO2を固定する



木は二酸化炭素を「吸い込み」、炭素 (C) から木材を形成し、酸素 (O2) を「吐き出します」。STEICOは、この天然の再生可能な原材料を使用し、高効率の断熱材や建築製品を製造しています。2022年に製造されたSTEICOの製品は、合計833,683 tのCO2を貯蔵しました。

STEICO製品が住宅の中でCO2を貯蔵する



平均的な一戸建て住宅を改修し、エネルギー効率を向上させた場合、屋根と外壁にSTEICOの製品を使用すると、これらの木質繊維断熱材は約10 tのCO2を吸収します。これは、ミュンヘンからマヨルカ島への往復20便で乗客1人あたりに発生する量とほぼ同じです。



持続可能な林業の重要性

持続可能な森林管理と木材を材料として使用することは、手つかずの森林生態系よりも気候保護に効果的です。枯れた木が腐ると蓄えられた二酸化炭素が放出されます。長期的には、自然林の CO2 バランスは中立です。つまり、放出される CO2 と同量の CO2 が蓄積されます。

もし、プラスの CO2 バランスを作るなら、木を伐採し、その木材を材料として利用し、代わりに若い木を植えて CO2 を貯蔵し続けなければなりません。これにより、将来を見据えて森林を再開発し、特定の樹木の組み合わせで気候変動に適応させることができます。これにより、強固な混合林が作られ、生物多様性が確保され増加します。

STEICO は、厳格な PEFC 規制 (森林認証制度承認プログラム) に従って認証された持続可能な森林の木材のみを加工しています。

持続可能性レポートは、公共の利益に高い満足感をもたらすことを実証しています

資源効率と CO2 貯蔵は、持続可能性の最も重要な生態学的側面です。さらに、ガバナンスと社会的献身も、持続可能性への総合的なアプローチの一部です。

STEICO は、2018 年から持続可能性の問題の詳細なリストを含む持続可能性レポートを発行しています。2022 年の STEICO 持続可能性レポートは、GRI の要件に沿って作成されています。



資源として十分な木材が利用可能です。

欧州連合の約 38% は森林に覆われており、毎年生育する木材の 3 分の 2 が使用されています。つまり、森林の木材の総量は継続的に増加しており、木材の収穫量はまだまだ大幅に増やすことができます。地球温暖化とそれに伴う乾燥期、嵐、害虫の蔓延により、製材できない木材の割合が増加すると予想されています。これらは、木質繊維断熱材の製造に使用できます。

STEICO の工場は森林地帯に位置し、半径約 150 km 以内で木材を調達できます。そのため、輸送に必要なエネルギー量を削減し、製品を生産するために必要な輸送距離は短くなります。

2026年までの企業目標

サステナビリティレポートでは、高い透明性と情報を提供できるようになり、読者にさらに優れた気候保護に向けた素晴らしい成果の最新情報をお届けしています。

2021	2022	詳細情報
<h3>社会問題</h3>		
<ul style="list-style-type: none"> 派遣社員・有期雇用社員の80%を正社員へ移行します。 臨時雇用者と有期雇用者の割合を5%に削減 職場の質を向上させるために従業員の提案を入手、検討、実施するシステムを導入する 健康増進活動の導入と欠勤日数の削減を目的とした欠勤日数記録システムの導入 職務要件と従業員の資格の80%の一致を保証するシステムの導入 継続的な専門能力開発：従業員1人当たり年間1週間の勤務 	<p>STEICO は、2022 年にサステナビリティレポート2021で初めてこれらの目標を発表しました。プロジェクトの従業員はタスクを開始し、STEICO グループに持続可能な前向きな変化をもたらすために必要な手順を定義しています。</p>	<p>Management approach for GRI 401: Employment 2016</p> <p>Management approach for GRI 403: Occupational health and safety 2016</p> <p>Management approach for GRI 404: Training and education 2016</p>
<h3>エコロジー</h3>		
<ul style="list-style-type: none"> 消費エネルギーのCO2強度を2021年と比較して24%削減 出張によるCO2排出量を2021年比で60%削減 	<p>2022年には消費エネルギーのCO2強度が19%削減されました</p> <p>既存の車両変更には時間を要するため、2022年には一時的にCO2排出量が15%増加しました。この目標は依然として有効です。</p>	<p>Management approach for GRI 305: Emissions 2016</p> <p>Management approach for GRI 305: Emissions 2016</p>
<h3>ガバナンス</h3>		
<ul style="list-style-type: none"> 2023年末までに、グループ全体で統一された内部告発システムを導入し、汚職と闘う 	<p>2022年の持続可能性レポートが公開された時点で、プロジェクトの状況は予定どおりでした。</p>	<p>Management approach for GRI 205: Combating corruption 2016</p>